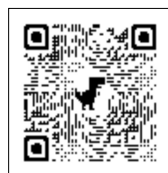
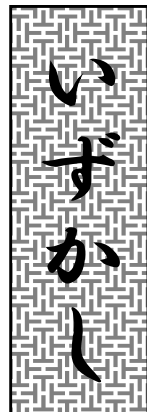


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



R7年10月2日

文責：校長

第2回代表委員会

運動会のテーマ決定

今年の夏は猛暑日続きで、とにかく暑く体調管理に気を遣う夏でしたが、今週に入ってようやく最高気温が30℃を下回るようになり、涼しく感じられるようになってきました。一ヶ月ほど遅く感じる秋の気配です。

そのような中で9月29日(月)に代表委員会を行いました。今回の議題は「運動会のテーマを決めよう」です。それぞれのクラスから出された言葉には「やればできる」「協力」「あきらめない」「がんばる」などがあり、運動会に込めたそれぞれの思いが伝わるようでした。植柳小のスローガン「やればできる」に近づけるようにと真剣に話し合い、次のテーマになりました。

**「みんなで協力
やればできる！」**

勝つても負けても、みんなで協力して心を合わせて、練習と当日の運動会もがんばることが



代表委員会の様子

大切という理由で決まりました。話し合う様子を見ていて、子供たちは、何かを成し遂げるためにしっかりと準備や協力することが大切であることをよく分かっているようで感心しました。みんなでテーマの達成に向けてがんばりましょう！



手づくりのおもちゃで遊ぼう

2年生が生活科の時間に作ったおもちゃを1年生に遊んでもらうために「おもちゃランド」を開いて、交流会をしました。

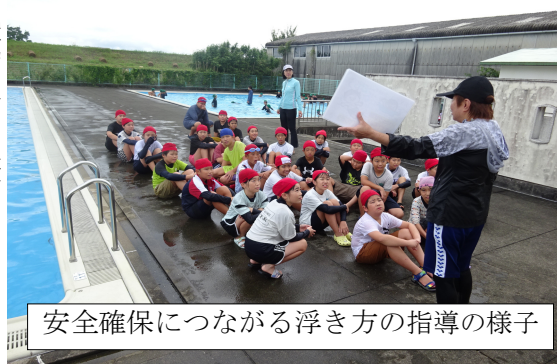
2年生の子供たちは、1年生の前では立派なお兄さんとお姉さんです。自分が作ったおもちゃの遊び方などを紹介する目はとても輝いていました。また、1年生の子供たちは、初めて見るおもちゃに興味津々。実際に使ってみると面白かったようで、笑顔がこぼれていました。また、アイデアいっぱいのおもちゃに、1年生はとても喜んでいました。

1年生からは、後日お礼の手紙を2年生に渡したようでした。



遊び方を紹介する2年生

着衣水泳指導



安全確保につながる浮き方の指導の様子

地域の方を講師としてお招きして5年生の子供たちに「安全確保につながる運動(着衣水泳)」の指導をしていただきました。

まず入水前に、川遊びには危

玄関に毬栗(イガグリ)を置いてあります。地域の方が、子供たちに見せてあげてほしいということとで学校まで持ってきてくださいました。ありがとうございます。

「毬栗に関見返るや上路山」

(岩田涼苑)

この俳句は、栗のとげで覆われた毬栗に、思わず見返る様子を描いた句だそうです。子供達にも、この学舎に一つでも多くのものがあると思いが残るといいなと思います。玄関に観賞用として置いているこの毬栗に、子供たちは思わず足を止めて見ていました。



泳がたくさんあることや、守らなければいけないことをしっかりと指導してくださいました。入水後は衣服を着たまま水に入るとたちまち動きにくくなることを等を体験しました。

また、誤って水に落ちたときの対処法で、落ち着いて救助を待つ「背浮き」も体験しました。空気をいっぱい吸い込んでお腹に溜めて浮く動作ですが、腰が曲がってしまい、上手に浮くことが難しかったようでした。

溺れないように泳力を伸ばす事も大切ですが、浮遊物等に捕まって体を浮かせて救助を待つという「とっさの時に落ち着いて行動できる力」も身につけてほしいと思います。

講師の先生、子供たちの安全のためにありがとうございました。